

<事業名> セッション Vol.2

団体名	ついで
所在地	朝来市
代表者名	田口 亮

事業内容	日時	令和4年10月22日(土)10時~10月23日(日)14時		
	場所	緑ヶ丘キャンプ場(兵庫県朝来市多々良木)		
事業内容	内容	食と音楽とキャンプの集い		
地域	但馬全域			
事業の成果	(1) 団体(組織)内の効果 私たちは、朝来市山東町の与布土地域で、耕作放棄地での耕作を実施している。農業や一次産業に目を向けてくれるような都市部の参加者がイベントに参加してくれた事もあり、当団体の構成員の一人である認定新規就農者のメンバーの活動に、興味をもってもらうことができた。 農家としてスタートして2年目の彼のところに、少しずつであるが農業体験に来てもらう人が出始めていることが主な成果である。			
	(2) 地域への波及 ①鹿肉を加工する朝来市内の自営業者にキャンプのBBQ用の鹿肉を提供してもらったが、それらの味や仕事にかける想いが参加者の一人(経営者)に届き、京都祇園の飲食店での試験的な取り引きが一件生まれた。 ②朝来市の緑ヶ丘キャンプ場で貸し切りのイベントが行なったことにより、朝来市観光交流課でキャンプ場の貸し切りイベントの際のマニュアルが作られることとなったようである。 ③移住者や個人事業主としてスタートしたばかりの事業者など、大手や既存の流通システムに比較して、自身の優位性が出しにくいような全ての独立して商売を行う人たちに、商品を販売することができるような場になり得るイベントをスタートさせることができた。			
事業経過	月日	実施内容	場所	参加人数
	9月10日、11日	イベント下見	緑ヶ丘キャンプ場	6人
	10月13日	会場設営	緑ヶ丘キャンプ場	6人+市職員
	10月21日	前日準備	緑ヶ丘キャンプ場	10人
	10月22日、23日	camp fes “session” (キャンプイベント)	緑ヶ丘キャンプ場	105人
	10月23日	『食の安全を守る人々』 上映会(※同時開催)	緑ヶ丘キャンプ場	35人
	11月18日	反省会	京都市内(音楽スタジオ)	14人

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">協働の相手</p>	<p>【朝来市 観光交流課】 キャンプ場を利活用してくれる団体として、私たちが認知されたようである。</p> <p>【ミュージシャン、出店者】 音楽家や飲食店事業者にとって、自分の活動を知ってもらう場として、当イベントを利用してくれたようである。当イベントの優位性と、ブランド価値、コンセプトをそれぞれ高めることによって、次回以降にさらに集客をでいるような相互に利益あるイベントのカタチを作りたい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の課題等</p>	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等 当団体の構成員、さらにイベントを手伝ってくれる都会のボランティアも、現在皆が無給である。イベントに運営スタッフ兼出店者として関わることによって、イベントを通じて対価を受け取るような仕組みが必要である。 運営をしているメンバーは全員が日中仕事をしており、休日の時間を割いてイベントを作り上げてきた。イベント収入（※主に入場料）と助成金では人件費が出ないので、一人一人がイベント内で、『何かを売る』、『何かを教える』、『何かを発信する』などして、自分の人件費は自分で稼ぐようになれないかと模索しているところである。</p> <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等 スポンサーを募る、ブランド価値を練りに練った後にクラウドファンディングをする、一緒に組んでお互いに持ちつ持たれつになれるような他の事業者と組む。etc...。現在は最後の反省会の後に、メンバーが個々にアイデアを練っている最中である。上記の工夫と共に、一朝一夕に答えを出そうとするのではなく、次年度に向けてじっくりと考えたい。 基本的な考えとして、『一次産業に目を向けてくれる若い人、都市の人、異業種の人を発掘し、彼ら同志を繋げることで何かを生み出すきっかけをつくる。』、『地域の疲弊や社会問題を、都市部の人を巻き込んで考える。』という姿勢は継続して変えないつもりである。</p>



4年10月22日 エントランスー受付所



4年10月22日 テントサウナ



4年10月22日 コーヒーショップ



4年10月22日 アルコール等販売